

令和3年11月

## 令和2年度武雄市普通会計決算の概要

※本資料は、総務省に提出した普通会計決算状況調査に基づき作成したものです。  
武雄市における普通会計は、一般会計となります。

### — 目 次 —

1.	決算規模	P. 2
2.	決算収支	P. 2
3.	歳入	P. 3
4.	歳出（目的別）	P. 5
5.	歳出（性質別）	P. 6
6.	財政構造	P. 8
7.	将来にわたる実質的な財政負担	P. 9
8.	健全化判断比率	P. 10
9.	社会保障4経費及びその他 社会保障施策に要する経費	P. 11

# 1 決算規模

- 令和2年度の武雄市の普通会計の決算規模は、歳入歳出ともに前年度を上回った。
- 歳入総額は、新型コロナウイルス対策に伴う国庫支出金や市営志久住宅建設工事に伴う地方債の増加により、前年度比74億7,881万円増(28.0%増)の341億7,961万円となった。
- 歳出総額は、新型コロナウイルス対策に伴う特別定額給付金等の補助費やまちづくり応援基金積立金の増により、前年度比77億3,570万円増(30.2%増)の333億1,791万円となった。

## 【決算規模の状況】

区 分	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
歳入総額	341億7,961万円	267億 80万円	74億7,881万円	28.0%
歳出総額	333億1,791万円	255億8,221万円	77億3,570万円	30.2%
歳出歳入差引額 (形式収支)	8億6,170万円	11億1,859万円	△2億5,689万円	△23.0%

# 2 決算収支

- 実質収支は、4億1,562万円となり、前年度と比較して黒字額は4億4,088万円減少した。
- 実質収支比率は、3.1%となり前年度と比較して3.4%減少した。
- 実質単年度収支は、財政調整基金積立金は増加したが、単年度収支の大幅減により、△2億8,416万円となり、前年度と比較して大幅に減少した。

## 【決算収支の状況】

区 分	実質収支	実質収支比率	単年度収支	実質単年度収支
令和2年度	4億1,562万円	3.1%	△4億3,935万円	△2億8,416万円
令和元年度	8億5,650万円	6.5%	4,330万円	6,792万円
増減額(率)	△4億4,088万円	△3.4%	△4億8,265万円	△3億5,208万円

### <用語解説>

実 質 収 支 : 歳入歳出差引額(形式収支)から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額で、実質的な収入と支出の差額

実質収支比率 : 実質収支の標準財政規模に対する割合で、一般的におおむね3~5%程度が望ましいとされている。

単 年 度 収 支 : 当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差引いた額

実質単年度収支 : 単年度収支に実質的な黒字要素(財政調整基金への積立金及び地方債の繰上償還額)を加え、赤字要素(財政調整基金の取崩し金)を差し引いた額

標準財政規模 : 地方公共団体の経常的一般財源の標準規模を表すもので、次のとおりに算定する。

$$\text{標準財政規模} = \left( \begin{array}{l} \text{地方譲与税} \\ \text{交通安全対策} \\ \text{特別交付金} \\ \text{個人住民税} \\ \text{(税源移譲分)} \\ \text{地方消費税} \\ \text{(引上げ分)} \end{array} \right) \times \frac{100}{75} + \text{地方譲与税} + \text{普通交付税} + \text{臨時財政対策債} \\
 \text{発行可能額}$$

※決算額ではなく、いずれも普通交付税算定時の数値を用いる。

## 3 歳 入

### 1. 地方税（市税）

地方税は、個人市民税、固定資産税、軽自動車税が増加したものの、法人市民税、たばこ税、入湯税が減少し、総額で前年度比1,030万円減（0.2%減）の56億9,680万円となった。

また、歳入総額に占める割合は前年度比4.7%減の16.7%となった。

### 2. 地方交付税

特別交付税の減により前年度比5億5,496万円減（7.7%減）の66億3,538万円となった。

### 3. 国庫支出金

新型コロナウイルス対策に伴い、特別定額給付金事業補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の増により、前年度比61億6,570万円増（160.9%増）の99億9,796万円となった。

### 4. 県支出金

農地及び農業用施設災害復旧費補助金やひとり親世帯臨時特別交付金給付補助金等の増により、前年度比4億6,041万円増（16.3%増）の32億8,117万円となった。

### 5. 繰入金

合併振興基金繰入金は増となったが、国民健康保険特別会計繰入金やまちづくり応援基金繰入金等の減により、前年度比1億3,995万円減（15.7%減）の7億5,171万円となった。

### 6. 地方債

民生債は減となったが、市営志久住宅建設による公営住宅建設事業債や新幹線鉄道整備事業債等の借入額の増により、前年度比5億5,979万円増（29.7%増）の24億4,675万円となった。

### 7. 一般財源

地方税や地方交付税等の減により、前年度比3億7,577万円減（2.7%減）の137億8,188万円となった。

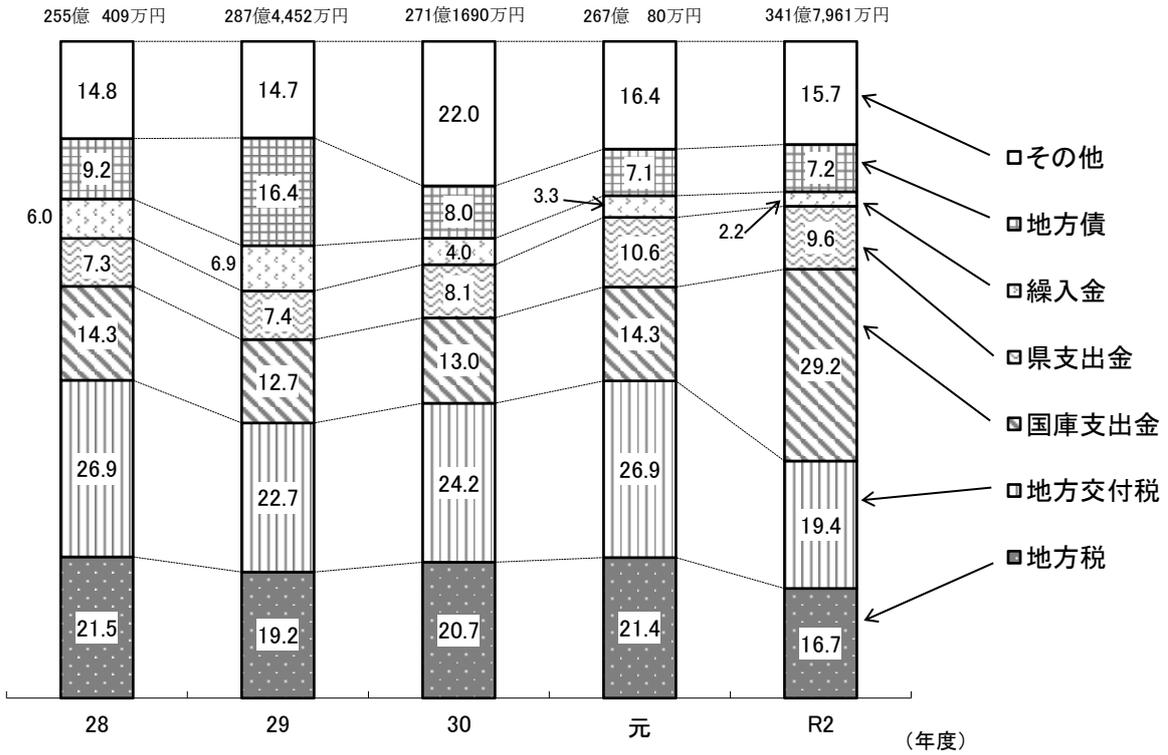
### 【歳入の状況】

区 分	令和2年度				令和元年度 決 算 額
	決算額	構成比	増減額	増減率	
地方税(市税)	56億9,680万円	16.7%	△1,030万円	△ 0.2%	57億 710万円
地方交付税	66億3,538万円	19.4%	△5億5,496万円	△ 7.7%	71億9,034万円
国庫支出金	99億9,796万円	29.2%	61億6,570万円	160.9%	38億3,226万円
県支出金	32億8,117万円	9.6%	4億6,041万円	16.3%	28億2,076万円
繰入金	7億5,171万円	2.2%	△1億3,995万円	△ 15.7%	8億9,166万円
地方債	24億4,675万円	7.2%	5億5,979万円	29.7%	18億8,696万円
うち臨時財政対策債	5億3,095万円	1.6%	△1,391万円	△ 2.6%	5億4,486万円
その他	53億6,984万円	15.7%	9億9,812万円	22.8%	43億7,172万円
歳入合計	341億7,961万円	100.0%	74億7,881万円	28.0%	267億 80万円
うち一般財源	137億8,188万円	40.3%	△3億7,577万円	△ 2.7%	141億5,765万円

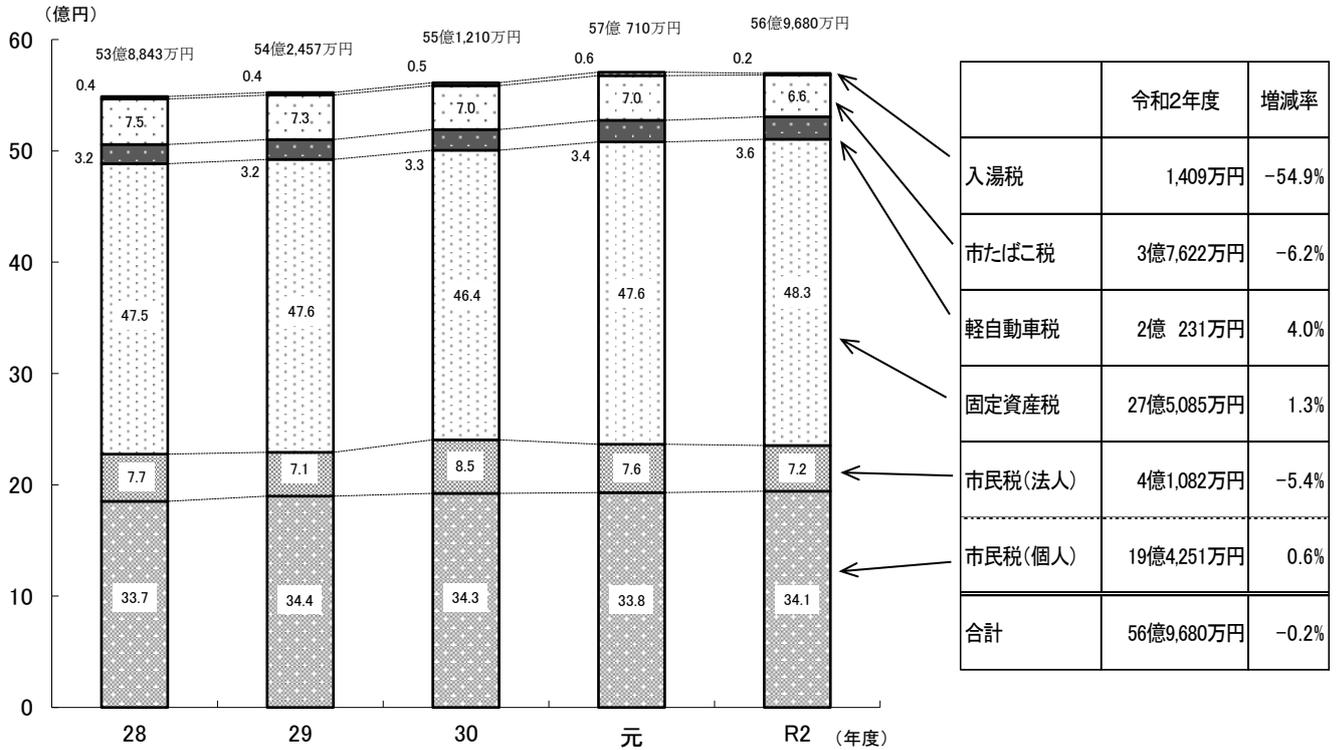
注1 その他とは、地方譲与税、地方特例交付金、利子割交付金等各種交付金、分担金及び負担金、諸収入などである。

注2 一般財源は、地方税、地方交付税、その他のうち地方譲与税、地方特例交付金、利子割交付金等各種交付金の合計である。

### <歳入決算額構成比の推移>



### <地方税(市税)の推移>



	令和2年度	増減率
入湯税	1,409万円	-54.9%
市たばこ税	3億7,622万円	-6.2%
軽自動車税	2億 231万円	4.0%
固定資産税	27億5,085万円	1.3%
市民税(法人)	4億1,082万円	-5.4%
市民税(個人)	19億4,251万円	0.6%
合計	56億9,680万円	-0.2%

## 4 歳出（目的別）

1. 総務費は、特別定額給付金事業費の増により増加した。
2. 民生費は、災害救助修繕料や国民健康保険特別会計への繰出金の減により、減少した。
3. 衛生費は、災害廃棄物処理委託料の減により減少した。
4. 農林水産業費は、強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業費の減により減少した。
5. 土木費は、市営志久住宅建設工事費や街路事業費の増により増加した。
6. 教育費は、北方公民館復旧工事費やタブレット型端末購入費の増により増加した。
7. 災害復旧費は、令和元年8月豪雨による農業用施設等の災害復旧工事費により増加した。
8. 公債費は、定例償還元金（旧庁舎解体にかかる合併特例債等）の増により増加した。
9. その他では、商工費（武雄版持続化給付金や新生活様式導入支援事業補助金等）の増により増加した。

### 【目的別歳出決算の状況】

区 分	令和2年度				令和元年度 決 算 額
	決算額	構成比	増減額	増減率	
総務費	89億5,858万円	26.9%	57億9,492万円	183.2%	31億6,366万円
民生費	90億4,278万円	27.1%	△1億8,692万円	△ 2.0%	92億2,970万円
衛生費	17億4,436万円	5.3%	△4億8,861万円	△ 21.9%	22億3,297万円
農林水産業費	10億7,755万円	3.2%	△1億2,967万円	△ 10.7%	12億 722万円
土木費	33億9,920万円	10.2%	12億5,557万円	58.6%	21億4,363万円
教育費	27億4,087万円	8.2%	2億1,510万円	8.5%	25億2,577万円
災害復旧費	13億9,956万円	4.2%	7億7,480万円	124.0%	6億2,476万円
公債費	29億 805万円	8.7%	1億 313万円	3.7%	28億 492万円
その他	20億4,696万円	6.2%	3億9,738万円	24.1%	16億4,958万円
歳出合計	333億1,791万円	100.0%	77億3,570万円	30.2%	255億8,221万円

注 その他とは、議会費、労働費、商工費、消防費、諸支出金である。

## 5 歳出（性質別）

### 1. 義務的経費

- ・人件費は、職員給与や退職金等については減となったが、会計年度任用職員にかかる人件費が増となり、前年度比11.3%の増となった。
- ・扶助費は、私立保育所運営費や障害者介護給付費の増により、前年度比3.5%の増となった。
- ・公債費は、定例償還元金の増により前年度比3.7%の増となった。

### 2. 投資的経費

- ・普通建設事業は、市営志久住宅建設工事費や図書館改修工事費の増により、全体で前年度比26.9%の増となった。
- ・災害復旧事業は、令和元年8月豪雨の災害復旧工事費の増により、前年度比124.0%の大幅な増となった。

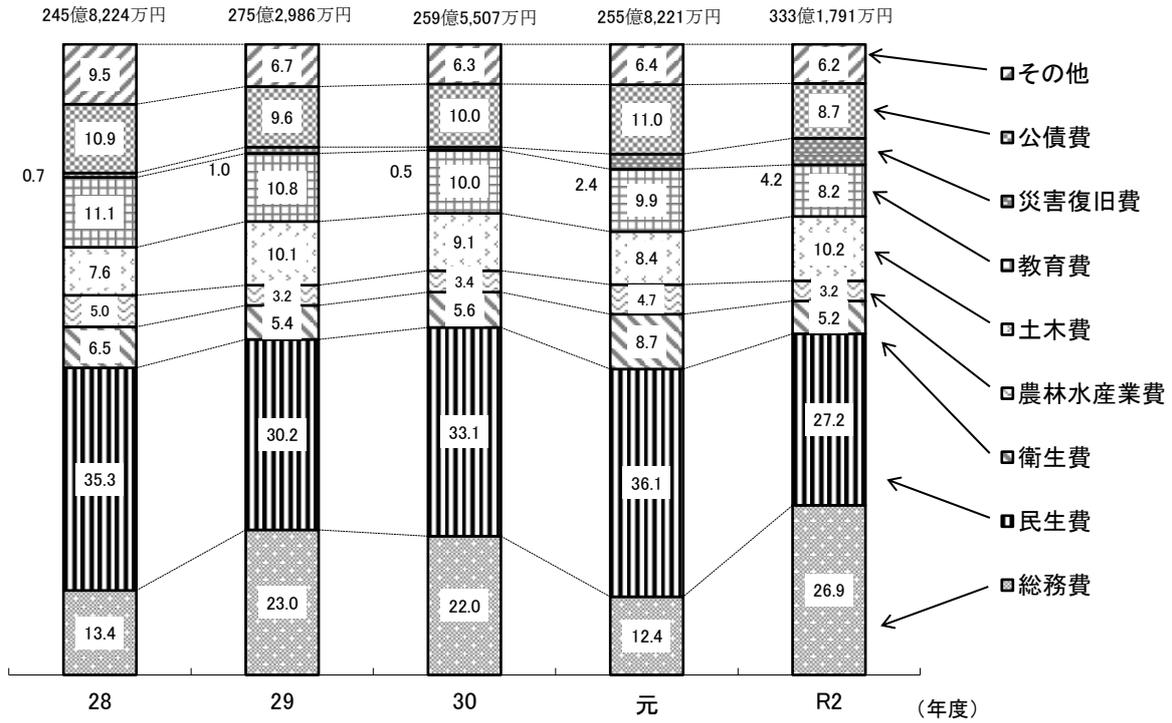
### 3. その他の経費

- ・物件費は、災害廃棄物処理委託料等の減により、前年度比1.2%の減となった。
- ・補助費等は、特別定額給付金や新型コロナウイルスにかかる経済対策費の増により、前年度比143.7%の大幅増となった。
- ・積立金は、まちづくり応援基金の増により、前年度比124.0%の大幅増となった。
- ・繰出金は、国民健康保険特別会計繰出金は減となったが、後期高齢者医療広域連合負担金の増により、前年度比1.0%の増となった。

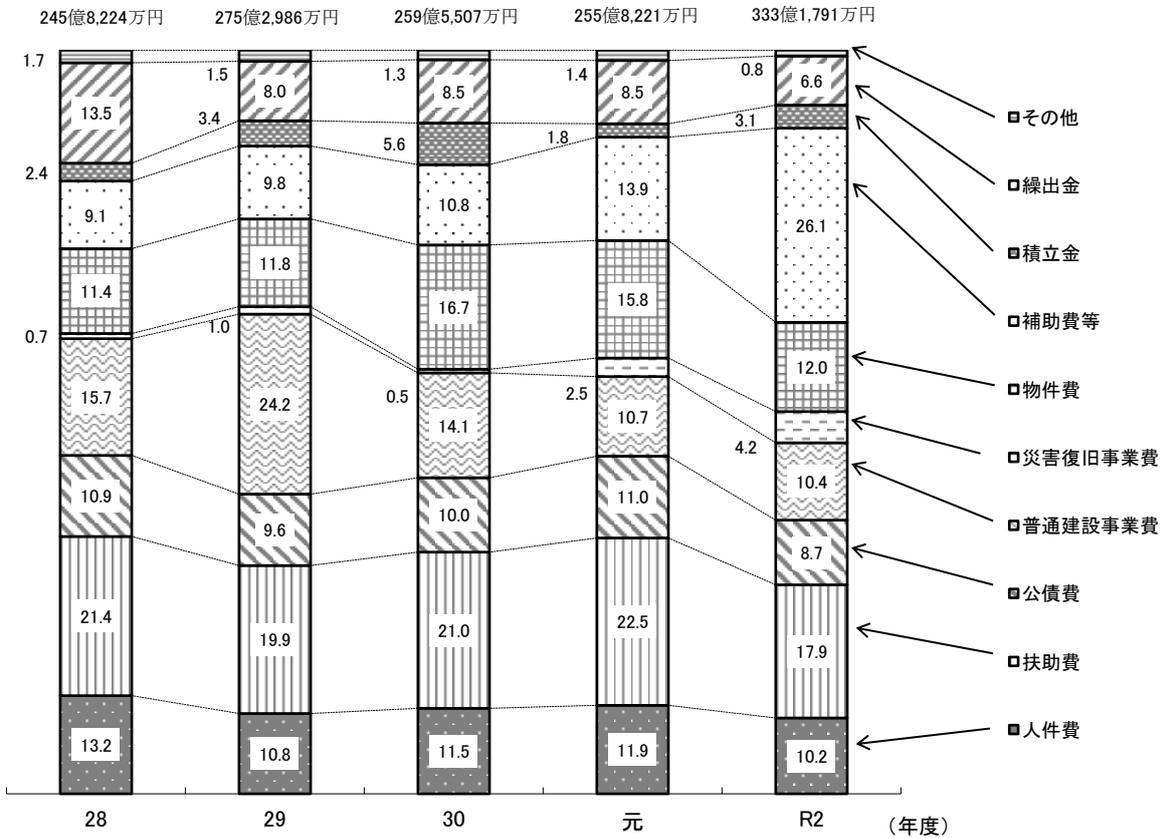
#### 【性質別歳出決算の状況】

区 分	令和2年度				令和元年度 決 算 額
	決算額	構成比	増減額	増減率	
義務的経費	122億5,574万円	36.8%	6億4,597万円	5.6%	116億 977万円
人件費	33億8,583万円	10.2%	3億4,400万円	11.3%	30億4,183万円
うち職員給	19億3,965万円	5.8%	△1,454万円	△ 0.7%	19億5,419万円
扶助費	59億6,186万円	17.9%	1億9,884万円	3.5%	57億6,302万円
公債費	29億 805万円	8.7%	1億 313万円	3.7%	28億 492万円
投資的経費	48億7,880万円	14.6%	15億1,291万円	44.9%	33億6,589万円
普通建設事業費	34億7,924万円	10.4%	7億3,811万円	26.9%	27億4,113万円
うち補助事業費	21億3,311万円	6.4%	4億4,562万円	26.4%	16億8,749万円
うち単独事業費	11億6,548万円	3.5%	2億4,128万円	26.1%	9億2,420万円
災害復旧事業費	13億9,956万円	4.2%	7億7,480万円	124.0%	6億2,476万円
その他の経費	161億8,337万円	48.6%	55億7,682万円	52.6%	106億 655万円
うち物件費	39億9,890万円	12.0%	△4,672万円	△ 1.2%	40億4,562万円
うち補助費等	86億9,079万円	26.1%	51億2,447万円	143.7%	35億6,632万円
うち積立金	10億1,649万円	3.1%	5億6,279万円	124.0%	4億5,370万円
うち繰出金	21億9,706万円	6.6%	2,278万円	1.0%	21億7,428万円
歳出合計	333億1,791万円	100.0%	77億3,570万円	30.2%	255億8,221万円

### <歳出決算額の目的別構成比の推移>



### <歳出決算額の性質別構成比の推移>



## 6 財政構造

### 1. 経常収支比率

- ・収入において経常一般財源は地方特例交付金や普通交付税が減少したものの、地方消費税交付金の増などにより、経常一般財源は前年度より179,247千円増となった。また、補助費などへの経常経費充当一般財源が増加したことにより、経常収支比率は前年度比1.3%増の95.6%となった。
- ・今後、扶助費や公債費などの経常的経費はさらに増加する見込みであり、自主財源の確保及び経常的経費の削減により一層努めなければならない。

### 2. 実質公債費比率

- ・庁舎解体事業や武雄北中学校の整備にかかる元利償還金が増加したため、実質公債費比率は前年度比0.4%増の9.0%となった。
- ・今後、新体育館建設工事や文化会館建替工事等、老朽化した施設の更新等にかかる地方債の発行に伴い、元利償還金の増加が見込まれるため実質公債費比率は上昇していくことが予測される。

### 3. 起債制限比率

- ・起債制限比率は、実質公債費比率の導入以前に地方債の制限を行うものとして使用されてきた指標である。
- ・令和2年度は、前年度比1.0%増の7.6%となった。

#### 【経常収支比率・実質公債費比率等の状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常収支比率	93.7	92.7	90.0	94.3	95.6
実質公債費比率	7.7	7.9	8.2	8.6	9.0
起債制限比率	6.3	6.4	6.3	6.6	7.6

#### 【参考】

**経常収支比率**…歳出総額を経常的経費と臨時的経費に区分し、経常的経費に充当された一般財源等の経常一般財源総額に対する割合であり、地方税、普通交付税を中心とする経常一般財源が、人件費、扶助費、公債費のように縮減することが困難な経費にどの程度消費されたかによって、財政構造の弾力性を判断するものである。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常的経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源} + \text{臨時財政対策債}} \times 100 (\%)$$

**実質公債費比率**…平成18年4月から地方債協議制度への移行に伴い、公債費による財政負担を判断し、起債に協議を要する団体と許可を要する団体とを判定するための指標として新たに導入されたものである。

18%以上となる地方公共団体については、地方債協議制度移行後においても、起債にあたり許可が必要となる。実質公債費比率が25%以上の団体については、一定の地方債（一般単独事業にかかる地方債）の起債が制限され、35%以上の団体については、さらにその制限の度合いが高まる（一部の一般公共事業にかかる地方債についても制限される。）こととなる。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(A + B) - (C + D)}{E + F - D} \times 100 (\%)$$

上記の算式によって得た比率の過去3年平均をいう。

A: 地方債の元利償還金（繰上償還等を除く。）

B: 地方債の元利償還金に準ずるもの（債務負担行為、繰出金、一部事務組合負担金のうち公債費にかかるもの）

C: 元利償還金等に充てられる特定財源

D: 普通交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金

E: 標準財政規模（標準税収入額＋普通交付税の額）

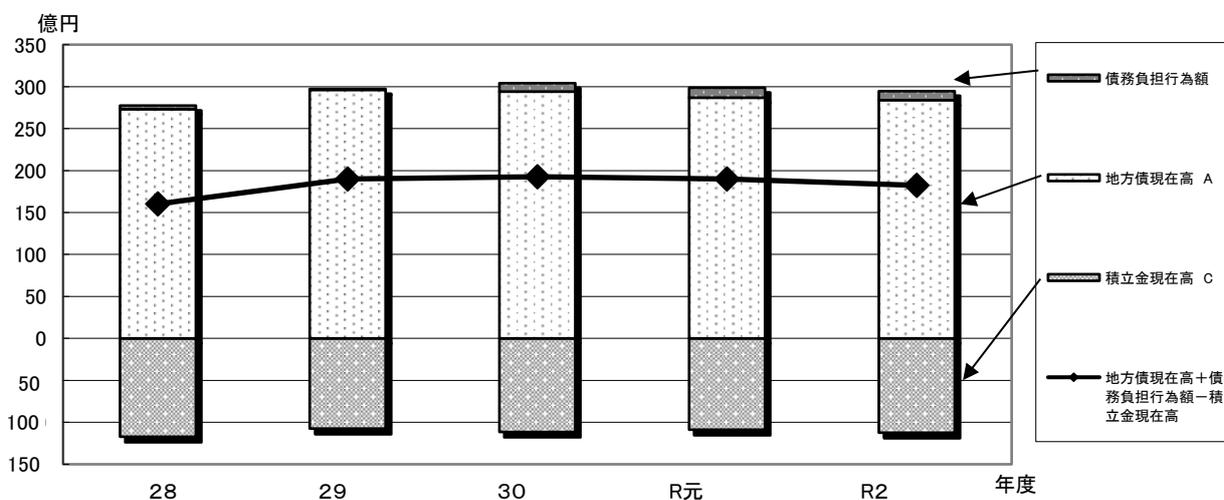
F: 臨時財政対策債発行可能額

## 7 将来にわたる実質的な財政負担

- ・将来にわたる実質的な財政負担額（地方債現在高と債務負担行為額との合計額から積立金現在高を差し引いた額）は、平成17年度(185億5,801万円)をピークに減少していたが、平成24年度(140億6,561万円)以降、地方債現在高の増により増加に転じた。令和2年度は前年度と比較して、地方債現在高、債務負担行為額ともに減少したことにより、7億6,841万円減(4.1%減)の182億1,509万円となった。
- ・積立金現在高は、3億5,890万円増(3.3%増)の112億3,997万円となった。

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減額 R2-R元 (増減率)
地方債現在高 A	294億 775万円	286億8,455万円	283億8,872万円	△2億9,583万円 (△1.0%)
うち臨時財政対策債	93億2,012万円	91億5,532万円	89億1,343万円	△2億4,189万円 (△2.6%)
債務負担行為額 B	10億 168万円	11億8,002万円	10億6,634万円	△1億1,368万円 (△9.6%)
積立金現在高 C	111億5,010万円	108億8,107万円	112億3,997万円	3億5,890万円 (3.3%)
財政調整基金	26億6,257万円	26億8,718万円	28億4,238万円	1億5,520万円 (5.8%)
減債基金	8億5,230万円	8億7,272万円	8億8,141万円	869万円 (1.0%)
その他特定目的基金	76億3,524万円	73億2,116万円	75億1,617万円	1億9,501万円 (2.7%)
A+B-C 【対標準財政規模】	192億5,933万円 【148.3%】	189億8,350万円 【143.9%】	182億1,509万円 【135.7%】	△7億6,841万円 (△4.1%)

将来にわたる実質的な財政負担の推移



## 8 健全化判断比率

- ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）により、地方公共団体は、毎年度、以下の健全化判断比率（4指標）を監査委員の審査に付した上で議会に報告し、公表することとなっている。
- ・早期健全化基準を上回ると、財政健全化計画の策定が義務付けられ、国への報告義務を負うこととなる。また、財政再生基準を上回ると、財政再生計画の策定が義務付けられ、計画について総務大臣の同意を得なければならない。
- ・武雄市の令和2年度決算にかかる財政健全化判断比率は以下のとおりとなっており、市財政の早期健全化・再生に関する指標とされている健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回っている。

### 【健全化判断比率の状況】

指標名	内 容	比 率	早期健全化 基 準	財政再生 基 準
実質赤字比率	普通会計における実質赤字の標準財政規模に対する比率	なし (黒字比率3.09%)	12.91%	20.00%
連結実質赤字比率	全会計における実質赤字の標準財政規模に対する比率	なし (黒字比率8.75%)	17.91%	30.00%
実質公債費比率	普通会計における公債費や、特別会計、公営企業会計、一部事務組合への公債費に係る繰出金等も含めた額の標準財政規模に対する比率	9.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	普通会計が将来負担すべき実質的な負債(特別会計、公営企業会計、一部事務組合、出資法人等を含む)の標準財政規模に対する比率	9.2%	350.0%	

令和2年度決算における社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費

【歳入】地方消費税交付金(社会保障財源化分)

549,786 千円

【歳出】社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費

8,208,918 千円

(単位:千円)

区分	経費	財源内訳					事業名称	
		特定財源			一般財源			
		国県支出金	市債	その他	社会保障財源化分の地方消費税交付金	その他		
社会福祉	社会福祉事業	77,520	11,208	0	0	9,201	57,111	社会福祉費
	生活困窮者自立支援事業	22,964	9,898	0	0	1,813	11,253	生活困窮者自立支援事業
	障がい者福祉事業	657,260	450,545	0	1,228	28,513	176,974	重度心身障害者医療費助成費、障害者自立支援給付事業、地域生活支援事業、障害者支援事業、障がい児支援給付事業
	高齢者福祉事業	288,203	0	0	88,085	27,768	172,350	老人福祉費、在宅福祉事業費、老人福祉センター費
	児童福祉事業	2,752,458	1,753,077	0	55,864	130,922	812,595	児童福祉事務費、放課後児童対策事業費、教育・保育給付費、特別保育事業費、地域子育て支援センター事業、私立幼稚園費、子どもの医療助成費、児童手当給付費、家庭児童相談費
	母子福祉事業	265,195	90,756	0	0	24,205	150,234	母子福祉費、児童扶養手当給付費、ひとり親家庭等医療助成費、男女共同参画推進事業
	生活保護扶助事業	509,281	389,744	0	0	16,587	102,950	生活保護事務費、生活保護費
	小計	4,572,881	2,705,228	0	145,177	239,009	1,483,467	
社会保険	国民年金事業	0	0	0	0	0	0	国民年金事務費
	介護保険事業	2,080,821	952,640	0	66,759	147,283	914,139	介護保険事業、在宅福祉事業費、介護予防事業費、介護予防把握事業費、介護予防普及啓発事業費、地域介護予防活動支援事業費、介護予防ケアマネジメント事業費、総合相談事業費、権利擁護事業費、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費、生活支援体制整備事業、認知症施策推進事業、地域ケア会議推進事業、在宅医療・介護連携推進事業
	国民健康保険事業	396,628	230,053	0	0	23,114	143,461	社会福祉費(国民健康保険特別会計繰出金)
	後期高齢者医療事業	868,806	127,036	0	0	102,928	638,842	老人福祉費(後期高齢者医療特別会計繰出金等)
	小計	3,346,255	1,309,729	0	66,759	273,325	1,696,442	
保健衛生	保健衛生事業	48,888	0	0	18,720	4,186	25,982	保健衛生事務費、杵藤地区病院群輪番制事業、休日急患センター運営事業、南部地区小児時間外診療事業、保健センター費、畜犬登録事務事業費
	保健予防事業	182,501	606	0	0	25,240	156,655	予防費、結核予防事業、がん検診推進事業、健康寿命延伸対策事業
	健康増進事業	3,596	555	0	0	422	2,619	健康増進事業費
	母子保健事業	54,797	0	0	0	7,604	47,193	母子保健事業費、養育医療費
	小計	289,782	1,161	0	18,720	37,452	232,449	
合計	8,208,918	4,016,118	0	230,656	549,786	3,412,358		